

刊夕 日二月七

常警每日新聞

定価 一ヶ月五拾五圓 三ヶ月一拾五圓 半年二拾五圓 一年五拾圓
 廣告料五號十二字一拾圓 一行五拾圓
 日曜祭日の日休刊
 発行所 常警毎日新聞社 電話六三〇
 印刷所 常警毎日印刷株式会社

いづれが夢なる

眞 繼 雲 山

呑ん兵衛の鳥さし平助が酔つ拂つて道端に呑みつぶれてゐるのを通りかゝつた殿様が座輿とあつて、伴れ歸り綾羅を競ふ御殿の眞ん中金屏風、絹夜具錦の衣に寝かせておく。

平助眼が覺めると雲の如く群臣のながれ「殿には長の意病氣御本復祝至極に存じ上奉る」と言上すると平助「いやわしは鳥さしの呑兵衛だ」といふのを「アレまだ十年の永い御狂病の夢をお考へ遊ばすか」と寄つてたかつて取りもつにぞさては鳥さしといふは生れ落ちて以來の長い夢を見てゐたものかと、どうやら半信半疑の殿様気分になつて奥方はじめ美人腰元などに花の如くかしづかれ、賑やかな酒宴の場となり呑や唄へて又しても平助は酔ひつづれる、その寝たまゝに昔のボロを着せて元の道端にころがして置く、程なく覺めてきた平助、ハテどつちが夢なのかと首を傾けるといふ筋は五九郎の當り喜劇で皆様御承知の筋である、世の人々は誰れ人も、人生五十年が本統の世界で寝て暮らす廿五年が夢の世界だ

と考へてゐる、しかし夢の世界に立つて晝間のことを追想したなら、矢はり平助同様、どちらが夢か分らなくなるであらう。

私たちは人生五十年を實在の世界と考へ、意識し得ない生前と死後は、知らずば夢にひとしからうとする

また私たちは一日廿四時間のうち比較的長い活動の十六時間を實在の世界と考へ、比較的短い睡眠の八時間を夢の世界と定めてゐるが、覺めての後追憶に長短は問題でない、鳥さし平助、臨終の清算には美人の奥方にかしづかれたりし一夕の歡樂こそ、彼れが五十年のさすらいを償ふて餘りある價値の實在ではなかつたか。

高月會句抄

・六月例会

短 夜

短夜や友と語れば夜半の鐘
 晝焚きし塵燃えきらす明易き
 短夜や雨漏る宿の貫風呂
 短夜に伏すや夢野の曉の鐘

鮎

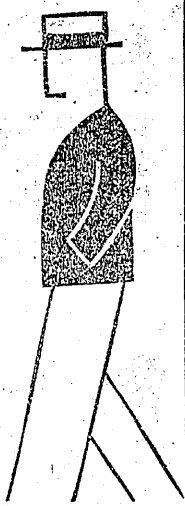
冠かけて氣ものひしと鮎を釣る
 宵月夜鮎清き瀬に跳りけり
 銀鱗のそろゝに躍る多麻の淵
 底見せて行く水はやし鮎のぼる
 ひつそりと鮎釣り淵の蒼さかな
 あゆ釣りて歸る堤のよく晴れし
 朝風の瀬鳴り涼しくあゆ釣りぬ
 あゆかけや夕日にきらめく竿の先
 淺き瀬やあゆひらめきて黄昏る
 水番の灯の輪おぼろにあゆ落つる
 瀬にせかるあゆの一むれ渦高く
 岩鼻にこぼれ夕日やあゆの里
 初漁の舌打つ味やあゆの宿
 銀線の閃く河岸に鶺鴒哉
 人毎に覗く小あゆや合籠の中

閑 月 閑 月
 鐘 樓 秀 峰 紅 果 曉 女 天 仙 湖 晴 全 人 紅 果 耕 影 全 人 石 水

夏服

軽くサラリとした新製品を豊富に取揃へました。

- シルクポラー三揃... ¥ 17.00
- シルクポラー上下... ¥ 12.00
- トルピカル上下... ¥ 7.50
- 黒セル上衣... ¥ 3.00
- 純毛白セルズボン... ¥ 2.50
- 白直衣... ¥ 1.20



あかや洋服店 平電二〇三

玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番

夏の御調髪は是非どうぞ

明るい感じ！清々しく
 電気バリカンの爽快な刈込み
 氣持よいシヤンパー電氣アイロン
 電氣マツサチの上品な仕上げ
 □キツト皆様の御氣に召すで御座います。

そして... 御上品にと心を籠めてお刈する當理髮舖の優秀なる御調髪をぜひ一度御試めし下さい。

石崎理髮店
 平町(電話一八八番)

外科

専門 X 科線光

上田外科醫院

平町南町 電話一二九號

一齒一科 一東京醫學士 中村文一
 平町鍛冶町 吉田吳服店西隣

川本 本場新茶入荷

一斤に付、四〇より 一一、〇〇まで
 新家庭用ほうじ茶
 斤 六〇 四半斤 一五錢
 斤 四〇 〃 一〇錢

御家庭用 京清水焼 御前茶器 番茶器 組三〇錢
 在荷豊富

香味本位の本場銘茶を召上りませ

電三九六番 大勝園

磐城名産

らか鹽と節鯨

魚問屋

店理代平命生本日大最優最 榮盛賀志 番一三二電 目丁四平

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

果樹栽培 害虫駆除講習会

農試分場が主催

石城郡神谷農事試験分場では各農家に於ける田植並びに養蠶が一段落を告げたので来る四日午前八時より同場に果樹栽培法及び害虫駆除に関する講習会を開催する事になつたが講師は伊藤技手である

米の検査

非常な激減

平穀物検査所で去月中取扱つた移出米及び生産米の検査数を見ると移出米が二百四十四俵、生産米が三百三十六俵、合計五百八十俵で昨年十二月産米出盛期の検査数一万五千餘俵とは比較にならない激減振りだが目下農村には持米少なく其上田植、養蠶の繁忙に追はれ減少したものであらうと

平町の養蠶

春繭は減少

平町に於ける春繭收穫高を最近町役場で調査したところによると白繭は二百二十二貫で前年の三百五十八貫よりは四十六貫の減少を見て居り黄繭の五十三貫は前年の九十七貫より十四貫を減じて居る

磐女の主任會

磐城高等女學校にては六日午後

神谷倉庫販米 石城郡神谷村農會の鎌田農業者庫では去る廿日五等六十四俵、等外六十九俵、計百三十三俵を入札せる結果五等八圓二十五錢、等外八圓五錢を以つて平町根本忠吉氏に落札したが前回より十五錢高である

排球のコーチ

磐城高等女學校体育部に於ては縣下高等女學校体育大會に必勝すべく来る二十四日より二十九日迄六日間大日本排球協會理事星野隆英氏を招きバスケットボール及びバレーボールのコーチを受けると

久の濱で

磐城水泳練習

磐城高等女學校水泳部にては今夏八月一日より六日間各教諭指導の下に双葉郡久之濱磯海岸に於て練習を行ふ事に決定したと

平第一が耐熱行軍

来る廿二日各組主任引率

平第一小學校にては来る二十一日各組主任引率の下に全校生徒の耐熱行軍を行ふが先左の如くである

▼尋常科(一學年)神谷村鎌田山(二學年)同農事試験場(三學年)同立神神社(四學年)草野村澤村神社(五學年)同澤浦(六學年)同赤沼浦

▼高等科(一學年)草野村御段山(二學年)大浦村仁井田浦

平窪の野菜夜店

本年も平町進出

既報平町野菜商の商賣敵となり反對運動すら起された平窪村生産即賣會では同會の平町進出を阻止されては諸物價安に最も苦しめられて居る農村の一大打撃であるとして躍々起となり来る五日より九月末日迄即賣夜店を開き新鮮な野菜を平町市民に供する事になつた

海軍事務

四日に検閲

平、植田、四倉、富岡各警察署管内各町村の海軍事務検閲は来る四日午前八時より執行官海軍少佐花田行武氏のもとに團体事務所樓上で行はれる筈

立憲養正會

宣傳書配布

石城郡湯本町立憲養正會磐城支部では左記の如きスローガンを記載した宣傳ビラを近く各炭礦に配布會員の募集を行ふと

△國を思ふ者は團結せよ
△團結して吾等の祖國日本を護れ

開催候補地視察 石城郡中堅青年夏季移動講習會は今夏八月開かれるが本日磐城中學校松本志人及び紺野忠の兩氏は今朝平發八時四十五分にて開催候補地たる勿來方面へ實地視察に行つた

平町物價

白米	一等一キロ	一七〇
白米	二等	一六五
白米	三等	一六〇
白米	〇七五	〇七五
平麥	一貫目	一一〇
味噌	一貫目	五〇〇
醤油	一升	三五〇
清酒	一升	一〇〇〇
木炭	樞丸一貫目	一七〇
木炭	樞割	一四〇
木炭	雜木	一六〇
砂糖	赤	一二〇
砂糖	白	一〇〇
豚肉	並上	一三〇
豚肉	並下	一五〇
牛肉	並上	二四〇
牛肉	並下	二五〇

平町人事

△五丁目四荒忠藏氏三女セイ子
△田町五四小松錦治氏二女安子
△南町四五鈴木吉猶氏二女セイ子
△死 亡
△五丁目三〇佐藤登喜子(五ツ)

芳照院 送葬の際は遠路惶々御會葬被下殊に御鄭重なる御香奠を辱ふし難有奉存候實は早速拜趨御厚禮可申上の處末だ混雜中に付き乍畧儀以紙上不取敢御禮申上度如斯に御座候 敬具

昭和七年七月二日
石城郡飯野村
伊藤淺之助
外親戚一同

專門 **内科一般**
住宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五

川井内科診療所
電話一八一番
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

耳鼻咽喉科専門

増田醫院
平南町(電話四八二番)

市原醫院
平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男
入院隨

磐炭専用電車から 振り落されれて

眞ツ二つに轢断即死

大風ろ敷を抱へて

石城郡内郷村磐城炭礦専用電車が今朝六時半頃同村内町字水ノ出地内を進行中乗合して居た大字綴字一ノ坪居住時計商竹内庄一郎(五三)が大風ろ敷を抱へた儘電車から振り落され線路内に轉げ込んで腹部を轢断され即死したので平署員が出張検死をした

一粒の米も無駄にすな

平第一の揭示教育

平第一小學校にては毎月揭示教育を施してゐるが今月は「一粒の米も無駄にするな」の標題の下に左の如き揭示を児童に讀まして居る

どんないそがしい場合でも食事だけは落ちついてゆつくり食べなければなりません、食事をいそぐと折角食べた滋養ある食物も不消化のまま出されてしまひ胃腸も害しますその上かりに一人一ヶ月の食費を十圓一ヶ月百二十圓とすると早飯の人は食物の三分の一位は消化されずに体外に出される

妻を尋ねて 流浪し廻る

空腹に耐えず平署へ 憎いは大根役者

昨夜八時頃ルンペン風の男が平署に空腹で歩行が出来ぬと救護を願出たので係官が事情を聞くと同人は栃木縣河内郡豊岡村字下部の山本金次(四七)と云ふ男で五年前迄は肩書地で妻キヨ(三三)との間に二兒あり農業を営んで相當に暮して居たが昭和三年春同村に巡業して來た新派の旅役者井上輝夫に妻を誘拐され家財及び二兒を親籍に預けて各地を流浪し妻の行衛を尋ね廻つて居る者である

偽證事件

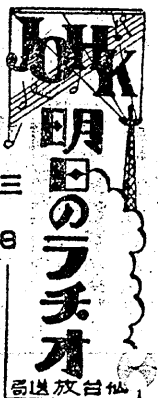
六日に公判

既報石城郡勿來町大字關田字關根二十三番地蛭田源右丸乘組漁夫權田忠(三九)と前

酌婦が

漁夫と 前借踏み逃走

石城郡小名濱町字神明町飲食山形屋事柴崎留吉方抱酌婦宮城縣巨理郡船戸村生れ戸塚ヤイ(三三)は昨一日午後十時頃目下同港内假泊中の茨城縣久慈郡湊町漁船鹿島丸乘組漁夫權田忠(三九)と前



明日のラジオ

今夜も明日も北東の風晴たり曇たり所に依り驟雨

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「伸びて太つて日に焦けませう」醫學博士三田谷啓
- 後六、二〇 コドモの新聞
- 後六、二五 カレントトピックス
- 後六、三〇 ハロルドパーマー
- 後七、三〇 川柳漫談「東京病者」川上三太郎
- 後八、〇〇 地唄「鳥邊山」富崎春昇外
- 後八、二〇 義太夫「玉藻前」竹本和昇外
- 後八、五〇 長唄「勸進帳」吉住小三藏外
- 後九、三〇 奉天より
- 後九、四〇 全國ニュース
- 氣象通報 番組豫告

職業紹介成績

平職業紹介所で去月中に取扱つた紹介数は求人が男四十一人、計五十三人、求職者は男七十七人、女十一人、計八十八人であつて其内就職を斡したのが本日抱主から平署に搜索願出があつた

七十の老婆

家庭の不和から カルモチン自殺

平町白銀町理髮業木村吉三郎の實母ヨネ(七〇)は卅日朝七時頃多量のカルモチンを嚥下自殺を計つたが家人に発見され直に手當を加へられた結果生命は取止めたが原因は家庭の不和であると

磐中驅虫結果

既報磐城中學校にては寄生虫の顕微鏡検査を行った結果一年生四組及び運動部選手人員五十八名の内蛔虫保持者十七名、鞭彘虫保持者十一

明日の部

- 前九、一〇 榮養料理「野菜の味噌煮」榮養研究所
- 前九、三〇 子供の時間
- 前九、四〇 飛行少年「深瀬薫」
- 前一〇、〇〇 宗教講話「一道德的修養と宗教的信仰」廣島文理科大学教授福島政雄
- 前一〇、四〇 講演「シヤムの話」伯爵二荒芳徳
- 前一一、〇〇 謡曲講座「謡の道しるべ」(二五)實演觀世左近解説池田信嘉
- 後〇、五〇 狂言 野村万齊外
- 後一、二五 脇本朗讀「劇詩カルメン」仙臺對話會
- 綾小路時子外
- 後二、〇〇 人情噺「穴どろ」柳亭燕三郎
- 後二、三〇 浪花節「背割正宗」浪花亭綾太郎
- 後六、〇〇 運動座談會
- 宮城縣体育主事佐藤義江外
- 後六、三〇 趣味講演「陸前牡鹿半島の契約」講中道等
- 後七、三〇 獨唱とピアノ獨奏 獨唱萩野綾子、ピアノ獨奏及伴奏宅孝三
- 後八、〇〇 哥澤「未廣」哥澤芝金外
- 後八、一〇 放送舞臺劇「蕪樹異物語」尾上梅幸一座

佐藤捕手退院

遊友との野球中怪傷した磐城中學校野球捕手佐藤勝義(一七)君は既記の如く南町上田外科醫院に入院治療中の處此程全治退院したが登校出来る迄は今後一週間位掛ると

四家訓導見舞

平第一小學校職員一同は去る四月より病氣療養中の同校訓導四家安雄氏に對し本日見舞として金一封を送つた

平職業紹介所報告

- 求人者の部
- △女中 四十才以下 尋卒 月七圓位(平町某醫師)
- △外交員 二十五才 高卒 給料面談(平町某染物店)
- △子守 十五才 尋卒 三圓外面談(平町某)
- △求職の部
- △女工 十八才 高卒 給

味美らひと

山崎合名會社 電話一〇番

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

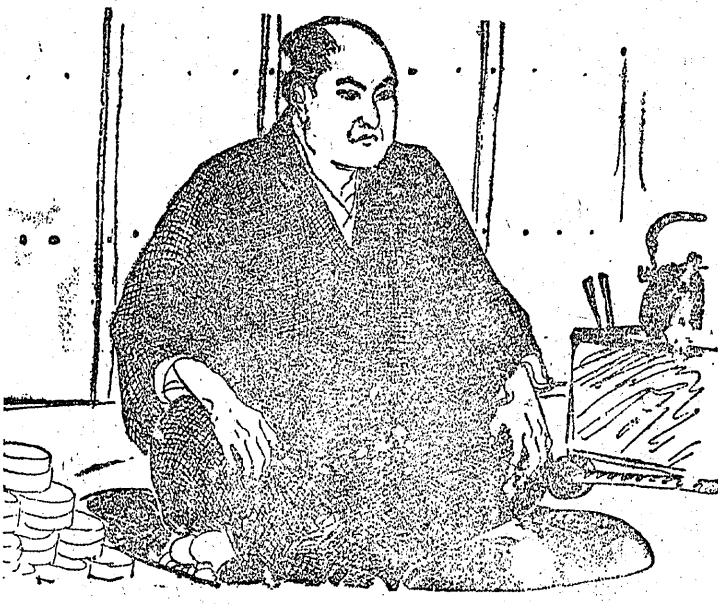
悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第九十一席 眞庭念流達人櫻井五助

藤太郎身延山へ

上州藤岡を立退いた藤太郎は久しく大阪に居りまして、今度身延山下大野に大賭場を開くに就て出て來まして親分慶助に出會ひ此博奕をウソと儲けて夫を馬に附けて大阪へ歸る心算、甲州身延山下大野に於て十月十一日より十三日に亘る三日間の賭場關八州の俠客が金を馬に積んで押して來る賭場の入口には何の某と記した標札を出し乾分は客人の世話をする又入口には嚴重に見張を置く、先づ天下御免の賭場とでも云ふか八州取締の役人にはそれ〴〵賄賂を贈りこの三日間は役人も知らぬ顔をして居る、客人は土地の者は勿論身延山參詣の者がこの勝負を争ふ、旅館屋や料理店はこの三日で一年の生活費を取上げる意氣忿ほど恐ろしいものはない、スルと上州藤岡の火の玉慶助の子分、例の眼玉の藤太郎は十二日の正午過ぎに旅籠屋を出て賭場を指して來た、板圍が出来て一柳源右衛門、廣澤の兵右衛門、江尻の和助、妙義の雷藏、三保の松源藏、小金井半助などと筆太に記した

板割が入口に建てあり中ではチャリ／＼金の音がする藤太郎はそれを聞いて藤「何處も景氣が好いと見えるナ、儲ける奴もあるだらうが損をする奴もあらうそこへゆくと貸元は寺錢を



堅氣な稼業は出來ねえや、所で何處の賭場へ飛込んだものかな先刻飲んだ酒が大分廻つて來たぜ、ア、快い心地だ、宵堂するなら暇くりやしやんせ、よいどちや湯錢も残らねえと來たナ、借何處に入つたものかナ悠う賭場が列んで居ては目移りがして叶けねえ、ウソさうだト日チラリと聞いたが岩手の角のト場は千兩堂のチョコが出来て居るとの事だ、チョコとくれば目と出ると一兩の金が五兩になる四割より下のチョコは無えや、それに堂が十兩とくれ

取るんだ損するやうな事は無え、客人は最初から損をしてかゝるんだ、一兩の金から寺錢を引かれて勝負をしねえ内から損をしてゐる考へれば算盤には乗らねえ事だ、然し目と出た節には只取るのだからナ、こいつを覺えたが最後トしても

はこの貸元角一、五十二三になる赫ら顔のデツフリと肥つた鼻の高い眼の大きな睨みの利く風采、甲州紬茶微塵の衣類に紺献上の帯を締め、銀造りの長脇差を引附け盆を見てゐる、世話をする者は三人、器械を扱ふは手代りとも二人但しこの人々は皆裸体です、下帯只一ツそれに半紙を二ツ折にして横の方に挿んで居る何の禁厭になるか知れませんが妙な事をしたもので、それで鉢巻をして居ります又角一の側には五十兩包み積んである、客人は四五人集まつて目を据えて一生懸命儲けよう儲けようと思つればかり思ひ夢中になつて昨つて居る、藤太郎は後方に佇み盆を見て藤「大層慾が集まつたナ、何うか宜い所を二三番受け遣りてえものだ、マア魂を鎮めて置いて茲一番といふ時にウンと賭つて儲けて遣らう」

と目を皿のやうにして、デーツと盆へ目を着けてゐる内に、段々と勝負が盛んになつて參りました、スルと續けて半目が出た一から五と出た最もこの博奕の種類はチョコとか申して一圓かけてそれが五圓になるそれですから二三度運よく當ると大した利益を見る、藤太郎は大分半目に絡んで居ると思ひ見つめて居ます藤「此處だ」

賭場へ入つて來て見ると正面の櫓の上に坐してゐる

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 腸胃病 腸虫病

門專 院醫科 院醫科

平南町 電話一七〇番

高橋時計店

貴金屬 時計及眼鏡類 懷中電燈 キミガヨ電氣

ランブ特約店

一冊の代金で 御希望通りな

五冊の雑誌が 自由に讀める

川崎巡回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

木村外科醫院

平南町五丁目橋際 電話三〇九

時計眼鏡

ヤキワキ 九九三三

金銀 高價買入ます

平南町丸新デパート 假營業所

根本時計店

涼味百パーセント菊地の白靴

お若いお方にノーズル型 最新角型はモダン好み お中年のお方は先細型

とてもシイクで値が安い

当店自慢のリネンシユ一

三、二〇ヨリ……五、〇〇マデ

平四 菊地靴靴店 電話呼四三六

内科小兒科花柳病科

藤沼醫院

入院需應

平南町細屋町 電話五〇七番

度量衡計量器吸入 用酸素、酸素吸入器

關内藥局

電話四〇番

呼吸器科

平南町 (電話一七〇番)

大和田醫院